演題 186

連日短時間透析は野菜が食べられる

発表者 **内場 廉**（長野県：長野市国保大岡診療所）

【緒言】

厚生労働省は動脈硬化性疾患抑制の目的に一日野菜摂取量350g を推奨している。一般にカリウム制限が基本になっている慢性腎不全患者、特に血液透析患者はカリウム上昇による致死的不整脈発症予防のため野菜の摂取に大きな制限がある。海外では長時間連日透析（一回６時間週６回）などによりカリウム、リンの制限から解放されているデータを得ているが短時間連日透析においても安全性が確保されているという報告はまだない。

今回我々は慢性腎不全患者に一日3,000mg のカリウムに相当する野菜の摂取によるカリウム、リンの推移を連日の透析前後の比較により評価したのでこれを報告する。

なお、この測定は被験者自身が医師であり、主治医の了解のもとに安全性を十分に協議の上行った。

【対象と方法】

◆連日血液透析（週７回）を行っている54歳男性１名

DW：72.0kg　透析歴４年　BMI：22.2　原疾患：DM 性腎症

◆透析条件

ダイアライザ：APS－18SA　QB：200ml/min　QD：500ml/min

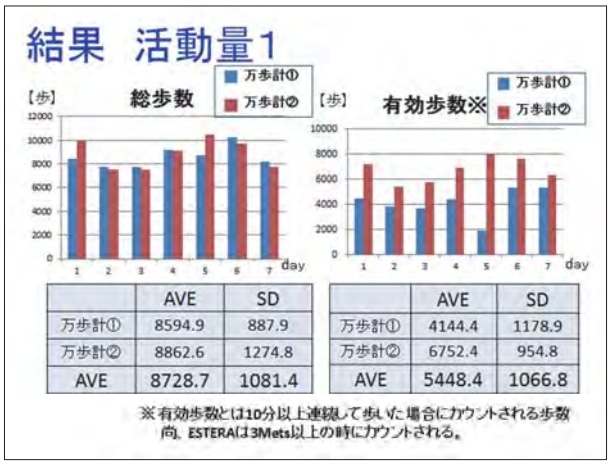
◆透析時間：３時間　HDP：147

◆評価項目

・活動量　…OMRON 社製万歩計【HJ－720】、ESTERA 社 FS－700を使用し、１日の総歩数を測定。一日の中で山道のウォーキングを含むデータの中から有効歩数を抽出し、消費エネルギーと対比。

・食事量　…写真とレシピからエネルギー、リン、カリウム、蛋白、食塩について管理栄養士が算出した。

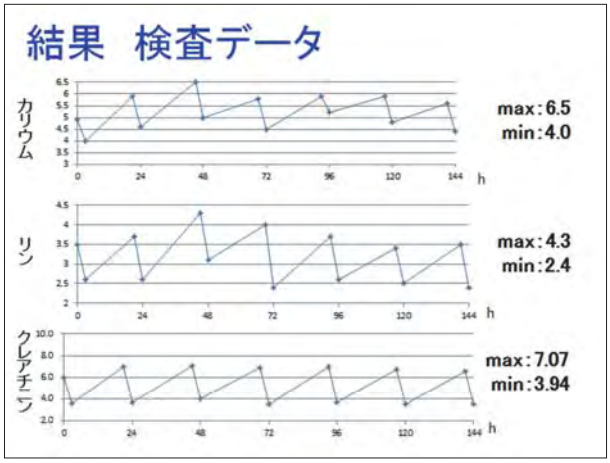
・透析効率…血液検査にて１週間連日の透析前後の血液検査カリウム、リン、クレアチニン

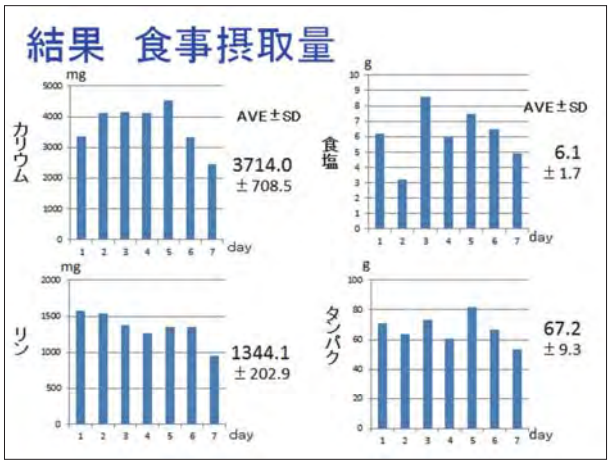


	AVE	SD
万歩計①	8594.9	887.9
万歩計②	8862.6	1274.8
AVE	8728.7	1081.4

	AVE	SD
万歩計①	4144.4	1178.9
万歩計②	6752.4	954.8
AVE	5448.4	1066.8

※有効歩数とは10分以上連続して歩いた場合にカウントされる歩数
尚、ESTERAは3Mets以上の時にカウントされる。





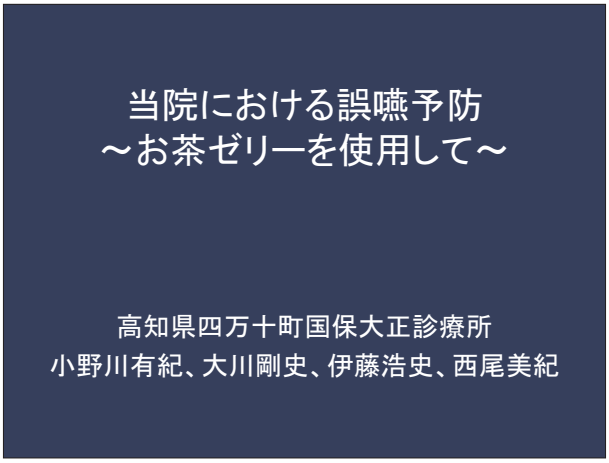
食事のレシピと写真から算出したエネルギー摂取量＝2281.0kcal
歩数計及び身体データから推定したエネルギー必要量2298.8kcal
摂取エネルギー／推定エネルギー必要量＝0.73
→ややマイナスバランスの傾向が認められた。
カリウムの摂取量は平均3,714mg
→通常透析患者の２－３倍の量と考えられた。
塩分摂取は平均一日当たり6.1g
→良好な塩分コントロールと考えられた。
タンパク摂取量は平均67.2g
→体重72kgを考慮するとほぼ1g/kgと良好な摂取量と思われた。
タンパク摂取量は平均67.2g
→体重72kgを考慮するとほぼ1g/kgと良好な摂取量と思われた。

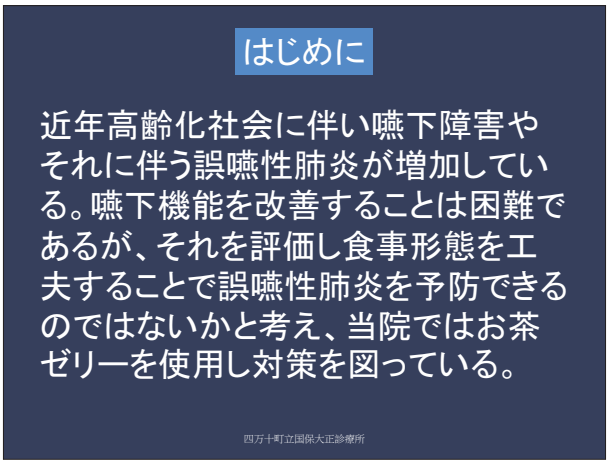
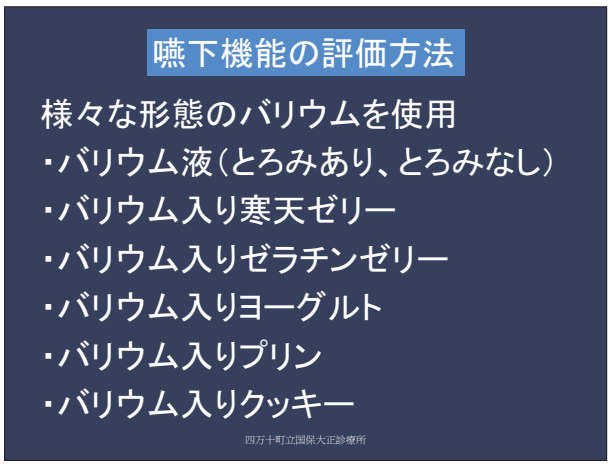
【考察】
・今回我々は多量な野菜摂取によるカリウム上昇を観察した。連日短時間透析は3,000mg程度の多量なカリウム摂取においても極端に危険なレベルのカリウム上昇は無く、やや高めとはいえ安定した推移を示したと考えられた。
・今後はダイアライザーの種類、血流量、透析液量を変えた場合、あるいは透析時間を変えた場合についてさらなる検討が必要と思われた。

演題 187

当院における誤嚥予防 ～お茶ゼリーを使用して～

発表者 **小野川　有紀**（高知県：四万十町国保大正診療所）
共同研究者 西尾　美紀、大川　剛史、伊藤　浩史





近年高齢化社会に伴い嚥下障害やそれに伴う誤嚥性肺炎が増加しています。嚥下機能を改善することは難しいですが、それを評価し食事形態を工夫することで誤嚥性肺炎を予防できるのではないかと考え、当院ではお茶ゼリーを使用し対策を図っています。
嚥下機能の評価方法ですが、当院では以下に示すような様々な形態のバリウムを使用しております。